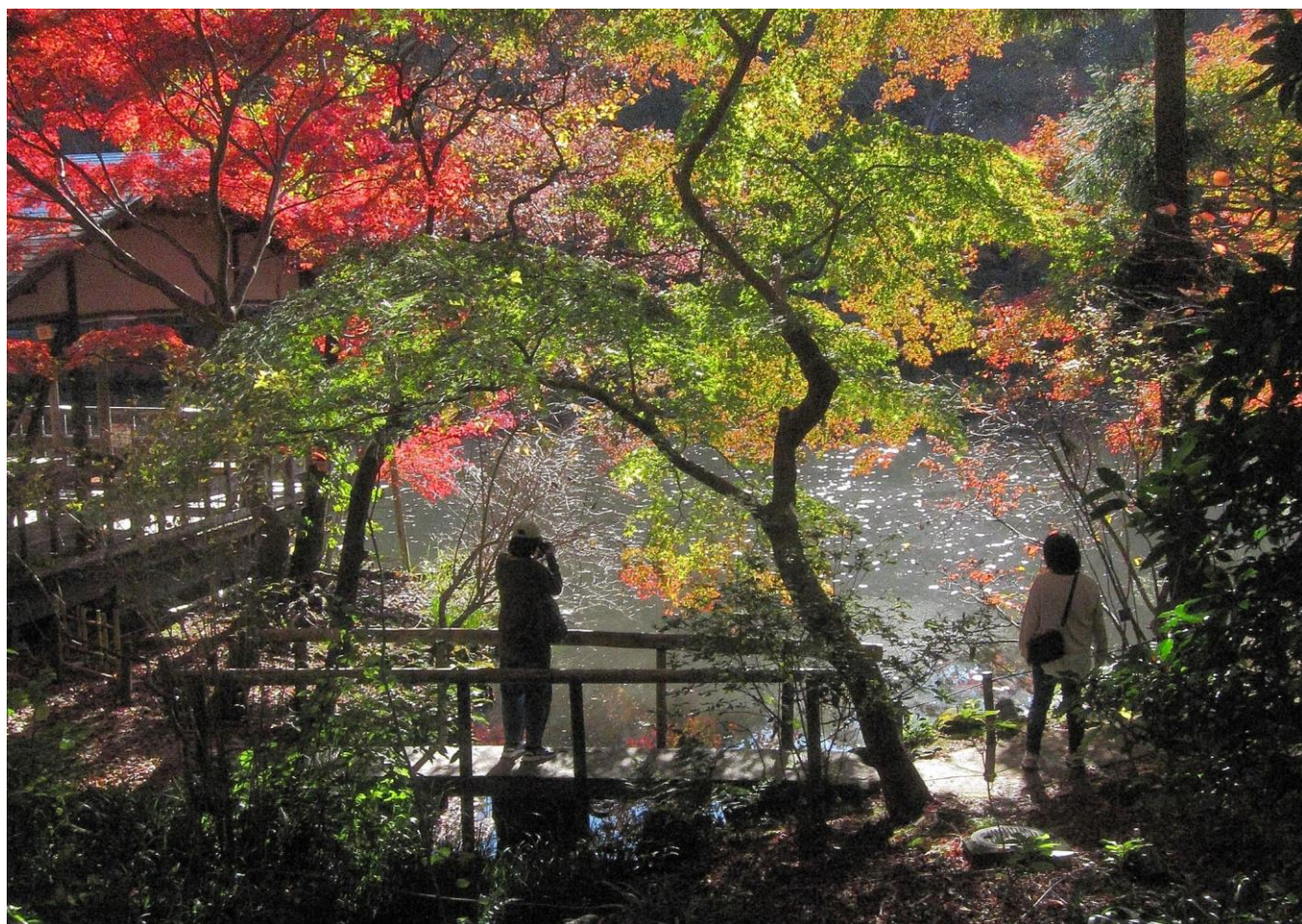


花水木だより

第 102 号 令和 5 年 11 月
千種区鯉城会会報
発行／花水木鯉城会



＜ 花水木鯉城会の輪を拡げよう ＞

お知らせはこちらから⇒



目次

表紙	1
目次	2
巻頭言「見てもやってもスポーツは楽し」総務委員長 高橋満里	3
同好会特集	
同好会代表者懇談会報告	4
同好会紹介 カラオケ/社交ダンス	5
ウォーキング/パソコン	6
写真/グラウンド・ゴルフ	7
生け花とお茶/太極拳	8
クッキング/囲碁	9
はなみずき健康体操/将棋	10
麻雀/ハーモニカ	11
同好会一覧表	12
第20回趣味の作品展 最高の会場設営完了	13
16区に広がるボッチャ	14
投稿 ノルウェーの思い出	15
取材記 わたしの好きなこと 万葉かな書	16
社会奉仕委員会報告	17～19
編集後記	19
今後の行事予定/次号予告(裏表紙)	20

表紙の言葉



「ちょっと待ってて」

相場 彰史 (22期 文化A)

お馴染みの東山公園です。紅葉は、全体が赤くなったのもきれいですが、いろいろな色が混じっている途中もいいものです。

今回、通りかかった人物も含めて撮りました。肖像権の問題もあり、後ろ姿ですが二人の会話が聞こえそうです。

巻頭言

「見てもやっても スポーツは楽し」

総務委員長

高橋 満里 (30 期 環境)



9月2日、沖縄の夜は凄く盛り上がりました。バスケットボール男子チームが、パリ五輪に出場出来ることが決まったのです。

バスケットを知らない私ですが、小柄な河村選手が、リングに向かって飛んだ時は驚きました。まるで龍が体をねじって飛び上がった様でした。その美しさに衝撃を受けました。即、バスケットのファンになり、河村選手に一目惚れしました。そのあと、同じ22歳の若手、富永選手が遠くからスリーポイントシュートを立て続けに決めた時は、びっくりしました。どこをどうしたら、こうなるのか、信じられない光景で、神がかりでした。キャプテンは167cmの富樫選手で、外国で頑張っている1億円プレーヤーだそうです。ヘヤースタイルが素敵です。ホーキソン選手は、208cm 28歳で、「日本にいてくれてありがとう」と、アナウンサーが叫んでいました。その通りだと頷きました。勝った瞬間に国旗を体に巻き付け、泣いてインタビューに答えていたのは渡邊選手で、野球の大谷選手にそっくりでした。この選手も28歳で、一番の人気者のようです。力とスピードがぶつかり合うこのスポーツは得点がどんどん入り、展開の速さに息をのみます。選ばれてトップ選手になった方の完成度に感動します。こんなに楽しくスポーツが見られて幸せです。



昔、テニスをやっていました。下手でした。スペインのナダル選手を10年程前、夢中で応援していました。日本に来た時は必ず東京有明コロシアムまで応援に行きました。強い選手で、魅力ある選手で、熱烈なファンでした。トップを目指して頑張っている選手の皆さんは、大きな期待を背負っているのでしょうか。でも、頑張った分だけきっと見返りはあると思います。取りあえずは、目標を決めて進んでください。私達サポーターは、ずっと応援することをお約束します。



私達も、カラフルな新しいスニーカーを履いて表に出てみませんか。意外に走れるかもしれませよ。カッコ良さに拍手が聞こえてくる気がします。頑張りましょう！

同好会代表者懇談会報告

総務委員長 高橋 満里 (30期 環境)

令和5年8月22日(火)15時~17時、「同好会代表者懇談会」が開催されました。会場は、地下鉄本山駅近くの千種区社会福祉協議会1階研修室です。

出席者は同好会代表者の14名、花水木鯉城会役員など11名、コーヒーサロンサークルから2名、計27名でした。

予定通り、一人のお休みも無く、皆さんもこうした会で会えるのを楽しみにしている様に思えました。しかし、この日は大変な日になりました。会議は15時からですが、その30分前に突然「ゲリラ豪雨」に見舞われ、会場の玄関前は、びしょ濡れになった人たちでごったがえしになりました。それでも、何とか落ち着きを取り戻し、15時ぴったりに懇談会のスタートを切ることが出来ました。



同好会代表者メンバー

内容について報告します。

1. 社会福祉協議会 吉岡次長の挨拶
 2. 花水木鯉城会 小松会長の挨拶
 3. 役員の見紹介
 4. 同好会代表から現状報告
 5. 同好会活動のHP活用方法説明
 6. 鯉城学園と鯉城会の現状報告
 7. コーヒーサロンの活動 今後の計画
 8. イオンイエローキャンペーンの方向性
 9. 趣味の作品展実施状況
- などについて話し合いました。

その中で、関心を集めた前向きな議題が2つありました。

1つ目は、5.のHPカレンダーの活用です。賛成、反対意見ありましたが、これから活用に向かって議論されると思います。

2つ目は、コーヒーサロンサークルの活動です。コーヒーの美味しさに加え、ハーモニカ演奏、サクソ演奏、アコーディオン演奏、マジックなどイベントを工夫して楽しませてくれています。

毎回時間が足りなくて、代表者の方々には、もっと話を伺いたいのですが、残念です。次回を楽しみにしています。かたづけを終わって16時40分に解散となりましたが、出てみると、あちこちに水たまりがあって、ひよいとまたいで帰りました。ゲリラ豪雨があったなんて嘘のような午後でした。



同好会代表者と役員の見意見交換。

カラオケ同好会



代 表:小川 貞之(25期 生活A)

連絡先:TEL 080-6914-9178

人は誰でも歌をうたう習性を持っています。

カラオケで歌う事は精神のバランスを整え、日頃のストレス解消に役立ち、健康を維持することで、毎日を心豊かに送ることができます。

人前で「フォーク、POP、演歌、他」大声を張り上げて歌う事は適度の緊張感、気分の高揚感があり、歌い終わった後の満足感が気持ちをリラックスさせたりして、ストレスをどんどん解消させてくれます。歌詞のイメージを思いうかべながら腹式呼吸で歌う事は、精神を安らげ楽しいひと時を過ごす、そして健康も得られ、さらに生きる喜びが湧いてきます。脳は激しく働いて、認知症、物忘れ防止のリハビリ効果も出て、感情が豊かになり美的情操を養う事が出来るとも言われます。



コロナもようやく落ち着いてきたようです。
今まで歌を我慢してきた皆様、
一緒に歌いませんか？

★興味のある方は一度尋ねてみてください。扉はいつも開いております！



社交ダンス同好会

代 表:伊藤 三作(18期 文化B)

連絡先:TEL 090-5633-1113



発足してから18年過ぎ、期では15期、年齢では90歳の大先輩から、最近卒業の若い(?)方まで20数名が、花水木鯨城会の聖地“富士見台会館”に集い、社交ダンスの上達に励んでいます。

ややもすると足の運び(順番)を覚えて満足しがちですが、現在の5代目、中川先生からは、姿勢、組み方、顔(頭)の位置、体の動きなど基本的なことを「今日、一つでいいから何か覚えて帰ってください」と指導を受けています。

まだ経験が浅いためよく分からない人、理解が出来ても体がついていかない人など様々ですが、和気あいあいと楽しんでいます。日頃のレッスンの成果を発表しようと、年に1回の発表会も刺激になっています。

健康で長生きするには、体を動かすことと頭を使うことが大切と言われますが、まさにダンスは、その両方を兼ね備えています。是非一度見学においでください。

ウォーキング同好会

代 表：増田 治彦 (24 期 園芸)

連絡先：Tel 0900-4112-0754



コロナ騒動も一段落し、再び活動するには、何がいい。歩ける人は、一番簡単なのは、ウォーキングだと思います。木陰の下を、四季の季節を感じながら歩くという事は、筋力の低下、認知機能の低下等の防止のため、健康づくりに欠かせません。特に友人や仲間との談笑は最適です。5千から1万歩も短く感じられます。最近では男性の高齢化と女性会員の増加で、女性中心の会となりつつあります。女性は、一人歩きより仲間との歩きが向いているのだと思います。花の季節には、植物園に入ったり、紅葉の時期には紅葉見物も行います。一度見学に来てみませんか。

パソコン同好会

代 表：久連石一彦 (24 期地域)

連絡先：Tel 090-3308-3906



パソコン同好会は、パソコンの基礎となるワードとエクセルを「より解りやすく、使いやすく」を目指して学んでいます。

少しでも学んでいれば誰でも出来るようになります。

■ 場 所：千種生涯学習センター
—3階第5集会室
千種区振甫町 3-34

■ 開 催 日：金曜クラス

- 毎月第1金曜日 13時～16時 木曜クラス 毎月第2木曜日 13時～16時
- 会 費：800円/月 (6ヶ月分前払いです)
 - 内 容：ワードは文章の作成、スマートアート、写真及びクリップアート挿入、案内状・年賀状の作成など。
エクセルは文章の作成、表・グラフと家計簿の作成など。
 - 講 師：服部先生とアシスタント2名
 - 募集人数：各クラス4～5名 (定員は各クラスとも16名)
 - 申込期限：令和6年3月22日 (金)

パソコンを持ち込めない方は、施設のものが借りられます。
皆様のご入会をお待ち致しております。

写真同好会

代 表：渡邊 武通（19 期 美術）

連絡先：Tel 052-762-7552



花水木鯨城会の皆様こんにちは。写真同好会の渡邊です。今年の夏は、猛暑日の連続、9月も中旬秋の気配は全く感じません。皆さん如何お過ごしですか。コロナも下火になり、写真同好会もコロナ以前の活動に戻ろうと考えています。それぞれが、お気に入りのポイントでカメラに収めて作った作品を、年4回の例会（3月・6月・9月・12月）の第2水曜日 14:00～16:00、自由が丘会館学習室に持ち寄って、「ワイワイガヤガヤ」楽しんでいます。

鯨城会の皆さん、ぜひ見学に来て、この雰囲気味わってください。お待ちしております。お気に入りでしたら、写真同好会の仲間になってくださいね。

グラウンド・ゴルフ同好会

代 表：木下 幸紀（25 期 地域）

連絡先：Tel090-1095-6411



グラウンド・ゴルフの醍醐味は、なんといってもホールインワンを出した時の快感です。でも、まあ、ホールインワンは「運」が9割、「実力」が1割ですから、何といっても「運」次第です。ですから初心者でも楽しいのです。

これまでグラウンド・ゴルフに縁のなかった初心者の方には、貸し出し用のプレー道具もありますので、気軽に一度「お試し」をしてみませんか。ビギナーズラックでホールインワンが出るかもしれません。

何しろ「運」次第ですから。

一方、町内会や学区の老人クラブなどで、グラウンド・ゴルフを楽しんでおられる方々のうち、火曜日の午前中に都合のつく方は、同好会のグラウンド・ゴルフにも参加されませんか。（毎週でなく、月1回でも構いません）

コロナも5類に格下げになりましたので、そろそろ懇親会を再開したいと考えています。ワイワイ・ガヤガヤと楽しい時間を共有しましょう。

生け花とお茶同好会

代 表：紫波 正國 (22 期 陶芸)

連絡先：Tel 090-4428-9612



花水木鯨城会の同好会を始めてよかった事は、参加の皆さんが、生きている花を水盤にいけ、そして伝統の茶道では、抹茶と美味しいお菓子を頂き、心の安らぎを得られる事です。

たまたま、我が家には母が残してくれた道具や茶室があり、同好会として発足できたことは、私自身も有難く思っています。

人数に限りはありますが、初めての方、歓迎です。
人生は、ご縁の積み重ねです。
良いご縁があれば幸いです。



太極拳同好会

代 表：亀山 秀夫 (30 期 地域 B)

連絡先：Tel 090-1279-4583



当同好会は、会員減少、指導者のアクシデントを会員の協力で乗り越え、稽古に集中し、活動してきました。

現在は、高齢者の健康ブームで、60歳以上の方で太極拳に興味を持ち、やりたい方が入会して、男性12名、女性15名が所属しています。「高齢者の長寿、健康づくりに太極拳を!!」モットーに毎回20名程度の参加者で月4回、毎週火曜日の13:30~15:00 都福社会館(第2火曜)、内山コミセン(第1・第3・第4火曜)で稽古に励み、楽しんでいます。

私達の太極拳は「楊名時八段錦・太極拳」の教えを基にしています。

創業者の楊名時先生は、「比べない、競わない」を大切に、「仲間の健康を願い」稽古する事、「心・息・動=体」を整え、健康を保つために役立て、日本で太極拳の紹介を勧め、全国で100万人の愛好者がいます。「健康・友好・平和」を理念に、独自の太極拳を広め、現在に至っています。

クッキング同好会

代 表：堀場 茂夫 (23 期 国際)

連絡先：TEL 090-2185-9161



長きにわたって中断していた料理教室も、10月から再開の運びとなりました。料理教室の講師は、レシピの作成、食材の調達、そして保管・運搬と準備がとても密なのであります。もはや、花水木という名の小さなコミュニティーだけから人材を探すことには限界があります。ならば、外部から人材を求めなければ教室の存続は厳しくなります。幸いにも、前講師の福島さんから、プロの料理人を紹介していただきました。

その人「シェフ伊藤」さんから、料理教室へ寄稿して頂きましたので掲載します。

“世界の味は、その国のお袋の味がベスト”

私の情熱と経験が詰まった料理クラスは、世界中のシェフとの学びを通じて培われた多彩な味を、日本のシニアの方々にお届けします。「家族の健康と安心を大切にする」をモットーにして、地産地消にこだわり、見た目だけでなく、中身にもこだわった料理を提供いたします。

世界のお袋の味の温かさと、安らぎを共有いたしませんか。

開催：毎月第3木曜 10:00～13:00 場所：千種区社会福祉協議会 2階 調理室

囲碁同好会

代 表：山中 豊二 (27 期 文化 A)

連絡先：TEL 090-7492-4858



囲碁同好会は、2012年に発足、昨年10周年で、色々な推移はありましたが、その後有段者数名の入会により、昨年度末の会員は約15名でした。

昨年までは、コロナによる再三の緊急事態宣言で会場の閉館、使用条件の厳格化により、定例会活動は低調でしたが、今年4月より、まん延防止重点措置が解除され、人数制限と使用条件も従来に比べ緩和され、囲碁将棋教室利用も32名（囲碁、将棋各16名ほど）となりました。

4月～8月の囲碁参加者は、4～7名と少しで、拡大防止対策も継続しましたが、課題は会員の高齢化と、この2年半のモチベーションの低下、趣味の多様化等です。IT利用によるネット碁等も活用したいと考えております。

懇親会については、有志で時々ランチ等はしていますが、機運が盛り上がりましたら、実施したと考えています。しばらく休んでいた方も原点に戻り、気を取り直し参加頂く事を心よりお待ちしております。

はなみずき健康体操クラブ

代 表：二宮 敏夫 (30 期 福祉)

連絡先：TEL 090-5865-1661



はなみずき健康体操クラブは、名古屋市高年大学鯉城学園卒業生を中心に構成し、平成 12 年に発足しました。今年度は男性 30 名・女性 70 名の 100 名でスタートしました。

昨年まで、新型コロナウイルス感染防止のため、参加人員を制限して活動してきましたが、今年度からは全員参加で実施しています。

健康的な長寿を目指した健康体操の女性専門スタッフ 2 名の指導のもと、ストレッチ体操、音楽に合わせたリズム体操、脳トレの指運動、筋力関節の維持運動など、バラエティーに富んだ健康体操を、毎週水曜日、10:00~11:30、千種スポーツセンター第 2 競技場で開催しています。途中、休憩時間を入れたり、水分補給を入れたりしていますので、自分の体力や体調に合わせて運動が出来ます。コロナ禍で、会員数も大幅に減っていますので、随時、入会を受け付けています。見学者大歓迎です。再入会者もちろんです。ご入会をお待ちしています。

将棋同好会

代 表：水谷 武子 (32 期 福祉)



将棋同好会は、令和 5 年 5 月 8 日より、コロナ禍の規制が解除され、通常通りの活動が出来る様になりました。これから、鯉城学園の先輩、後輩との◻▲将棋対局、そして、同室の囲碁同好会の方達と共に、懇親会を再開できる事を願っております。

最近、プロ棋士の活躍が、テレビやネットニュースを賑わせています。将棋は、年代、性別、棋力も関係なく楽しめるゲームです。ほとんどの方達が子供の頃、将棋を指された経験がお有りかと思えます。懐かしい思い出を、ご友人やご家族と共に、語らい楽しみましょう。男性はもちろん、女性の方も是非、覗いて見てください。初めての方も大丈夫です。棋力の有る方は◻▲対局をして、時々は教えて頂けると嬉しいです。

詳細は、第 1 と第 3 金曜日の活動日に、いらしてお尋ねください。会場の都福社会館は、地下鉄今池駅から北に向かって、市バスで 1 区間の都通り 2 丁目バス停近くです。

皆様のご参加をお待ちしています。

麻雀同好会

代 表：寺澤 正春 (31 期 文化 B)

連絡先：Tel 090-3588-9580



コロナ禍により、3 年程休会を余儀無くされ、今年に入りコロナも落ち着いて、何とか再開にこぎつけました。活動は 6 名の世話人で運営しており、麻雀の初心者の方も楽しく覚えて頂ける様に、熟練した方がリードして、実践第一で、ゆったりと取り組んでいます。又当会の麻雀ルールは、報知ルール（かつて報知新聞社が、麻雀日本一を決める際に、全国各地、各種の麻雀ルール

を一元的に決めるため、全国各地、各種の麻雀ルールをとりまとめたルール）に準拠したもので、理論的にも整ったものであると自負しています。

今後、5 周年記念の懇親会、ランチ会、麻雀大会等を計画しております。

現在、男性の健康寿命の平均は 72.1 歳。女性 75.1 歳という事ですが、70 代は、意欲的に身体を動かし頭を使う努力をしないと、意欲の低下が進み、何事にもやる気がわかず、興味もなくなり人に会うのも億劫、出不精になる。これからの人生の坂をどう乗り越えるかを考えた時、麻雀は人生の良きパートナーになるのではないかと思います。

ハーモニカ同好会

代 表：小出 敏広 (32 期 文化 A)

連絡先：Tel 080-3624-2716



「楽しく元気を」をモットーに、ハーモニカ同好会は、日々頑張っています。

同好会の中では一番若く、まだ 2 年もたっていない、出来立てほやほやの同好会です。

初心者向けに、童謡、歌謡曲、フォークソングなど、よく知られた曲を練習しています。最近は、福社会館のイベントやコーヒーサロン、忘年会それに新年会など、演奏する機会が多くなりました。

ただいま、会員募集中です。ハーモニカをやってみたい方はもちろんですが、音楽が好きな方や、何か楽器をやってみたい方も歓迎します。

練習日：毎月 第 1、第 3 土曜日 13:00~15:00

場 所：内山コミュニティセンター（地下鉄今池駅から北へ徒歩 5~6 分）

会 費：月 1,000 円（入会金無し）

見学希望の方は、直接、練習会場に来て頂いて結構です。現在 7 名で活動中ですが、10 名位になれば嬉しいです。 今後の予定、花水木コーヒーサロンに出演など。

花水木鯨城会 同好会の紹介

令和5年9月26日

花水木鯨城会の同好会は令和5年9月26日現在14あり、それぞれ自主的に活動しています。

入会希望者・見学希望者は、同好会代表者へご連絡下さい。（定員制の同好会もあります）

花水木鯨城会にまだ入会していない鯨城学園生も入会できます。

（敬称略）

同好会名	代表者	開催日	会場	会費	会員等	備考
カラオケ	小川 貞之 080-6914-9178	第1・3金曜 13:30~16:30	ジャパンカラ オケ星ヶ丘店	500円/回 正月・GWの会費 は問合せのこと	参加者 約20名	平成17年発足 花水木鯨城会 花水木会員が対象 正月 GW お盆は代表者に問合せ
社交ダンス	伊藤 三作 090-5633-1113	第2・4日曜 13:30~15:40	富士見台会館	入会金:1,000円 2,100円/3ヶ月	男性 10名 女性 14名 計 24名	統一級のレッスン 講師：中川 清子 発表会・懇親会 開催
ウォーキング	増田 治彦 090-4112-0754	第2・4火曜 9:30~	(集合場所) 東山動植物園 正門前	1,000円/年	男性15名 女性17名 計 32名	第2火曜 東山一万歩コース 第4火曜 平和公園一万歩コース 歩行距離約6km、総会は年1回
パソコン	久連石一彦 090-3308-3906	第1金曜 第2木曜 13:00~16:00	千種生涯 学習センター	4,800円/6ヶ月	金曜11名 木曜 8名 定員各16名	外部講師1名・アシスタ2名で実施 パソコンが持ち込めない方は施設の ものが借りられます。
写真	渡邊 武通 762-7552	例会 4回/年 3・6・9・12月 第2水曜14:00~	自由ヶ丘会館	600円/年	男性 5名 女性 1名 計 6名	先生はなし カメラは各自持参 花水木だよりの表紙写真寄稿 会員募集中
グラウンド ゴルフ	木下 幸紀 090-1095-6411	毎週火曜 10:00~12:00	鹿子公園 グラウンド	1,000円/年	男性4名 女性8名 計 12名	平成24年7月から毎週実施 5~10名参加、8月夏休みあり 懇親会2回/年実施
生け花と お茶	紫波 正國 090-4428-9612	第1月曜 13:30~	紫波氏宅 (本山駅)	花材費・水屋料 1,500円/回 (実費)	男性 5名 女性 7名 計 12名	申し込みは直接代表者まで 当日参加者は事前に連絡を お茶--表千家、お花--流派なし
太極拳	亀山 秀雄 090-1279-4583	第1・2・3・4 火曜 13:30~15:00	第1・3・4: 内山コミュ 第2:都福祉会館	入会金:1,000円 3,000円/年	男性 13名 女性 16名 計 29名	参加者 20名前後 定員 30名 懇談会 1~2回/年実施
クッキング	堀場 茂夫 090-2185-9161	第3木曜 10:00~13:00	千種区社会 福祉協議会	材料費 1300円/1回	男性 17名 女性 10名 計 27名	参加者20~25名 借用品(食器・ 包丁まな板等)の片付け・管理 必要 調理台4台利用 会費無し
囲碁	山中 豊二 090-7492-4858	第1・3金曜 9時集合~昼頃	都福祉会館 3F	なし	男性 10名 女性 0名 計 10名	当面 6~8名の参加 囲碁の面白さ と無限の可能性と変化を探索 適時有志により懇親食事会等実施
はなみずき 健康体操	二宮 敏夫 090-5865-1661	毎週水曜 10:00~11:30	千種スポーツセンター 第2競技場 (収容人員120名)	入会金:1,000円 会費:4,000円 /3ヶ月	男性 30名 女性 70名 計 100名	ストレッチ、中国体操、曲に合わせた リズム体操実施 指導員2名 毎回70名程度参加、入会受付は随時
将棋	水谷 武子 070-1683-7837	第1・3金曜 9:30~昼頃	都福祉会館 3F	なし	男性 16名 女性 4名 計 20名	将棋愛好者にて平成30年1月発足 対局、親睦会を通し会員相互の 交流と共に将棋の上達をはかる
麻雀	寺澤 正春 090-3588-9580	第1・3日曜 11:00~16:30	千種 T AIHO ビル 3F 雀荘 上海 闘龍門	年会費1,000円 ゲーム代 1,150円 個室ドリンク付	男性 15名 女性15名 計 30名	平成30年10月発足 年一回大会開催 初心者歓迎、組合せはレベル別 世話人6名が指導します
ハーモニカ	小出 敏広 080-3624-2716	第1・3土曜 13:00~15:00	内山コミュニ ティーセンタ	1,000円/月 定員：10名程度	男性 4名 女性 5名 計 9名	令和4年4月より新規発足練習開始 複音式ハーモニカ・初心者向け 楽譜が読めなくても大丈夫です

第20回 趣味の作品展 最高の会場設営完了

行事委員長 南 清貴 (31期 園芸)



10月11日(水)～15日(日)愛知芸術文化センター12階アートスペースHで開催されました「花水木鯨城会第20回趣味の作品展」の会場設営及び展示作品の飾り付けが、10月10日に滞りなく行われました。

午後1時から運営委員による会場設営、午後3時から出展者の作品搬入・展示と極めてスムーズに進み、昨年より1時間早く終了することが出来ました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

当初、応募数の伸び悩みを心配しましたが、おかげさまで、最終的に出品数は70点以上の多数となり、しかもバランスが取れ、バラエティーに富んだ作品ぞろいで、素晴らしい作品展と自負できる仕上がりとなりました。



作品は、絵画16点・写真16点・書4点・俳句2点・陶芸10点・絵手紙13点・手芸品など13点。加えて千種区社会福祉協議会なでしこ会の大型作品・千種区在宅サービスセンター様の貼り絵があり多彩な内容となりました。

今まで以上に楽しめる作品展になりましたので、「趣味の作品展」開催期間中、多くの皆様に見て頂き、盛会になることを祈念しました。

(なお、作品展終了後の統計速報値で来場者数は5日間合計492名となり、令和元年以降最高のお客様数でした。ありがとうございました。)



16 区に広がるボッチャ !

CHIKUSA ボッチャ広めたい

代 表 : 二宮 敏夫 (30 期 福祉)

連絡先 : TEL 090-5865-1661



「CHIKUSA ボッチャ広めたい」が発足して3年が経過しました。

千種区社会福祉協議会の支援を受け、11名のメンバーの中、花水木鯨城会会員が6名在籍しています。赤い羽根共同募金の助成を受けて、公式試合でも使用できるボッチャセットは2セット所有しています。

ボッチャは、老若男女、障害のあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に、そして競い合えるスポーツで、パラリンピックの正式種目にもなっています。公式コートは、6m×12.5mの広さですが、コミセンや集合住宅の集会所などでも可能なサイズの4m×7mのコートを、名古屋バージョンとして、市内の「ボッチャ広めたい」で統一して推奨しています。

この3年間で、千種区老人クラブ連合会、千種区女性会、生涯学習センターでの体験会、千種区社会福祉協議会主催のボッチャ交流会、はつらつ事業での体験会などの審判や指導も50回を超え、来年度には100回を超える勢いで、支援の要請が来ています。

また、11月16日開催の、「鯨城会16区フェスティバル」ではボッチャ競技が採用され、指導や審判の支援をさせて頂いております。



町内会、子供会、女性会など、地域活動の場や花水木鯨城会の地域会などで体験されたい方は、気軽にお申込みください。経験や用具が無くても参加できます。「CHIKUSA ボッチャ広めたい」が親切にご指導させて頂きます。4m×7mのコートが出来る広さがあれば可能です。もちろん無料です。



投稿

ノルウェーの思い出

山田 修 (31 期 美術)

僕はちょうど45年前ノルウェーのオスロに住んでいました。大学でノルウェー語を習っていて1年ほどでそれなりに使えるようになり、日本に帰国しました。仕事は新造船契約を担当し、客先の北欧船主とノルウェー語を使って仕事をしていました。ノルウェー語が話せる日本人は珍しく、ノルウェー大使館などから声をかけてもらい日本人との交流イベントなどにも参加しました。もう亡くなられた方もいますが、まだ同国の友人何人もが健在で、時々メールのやり取りなども続けています。

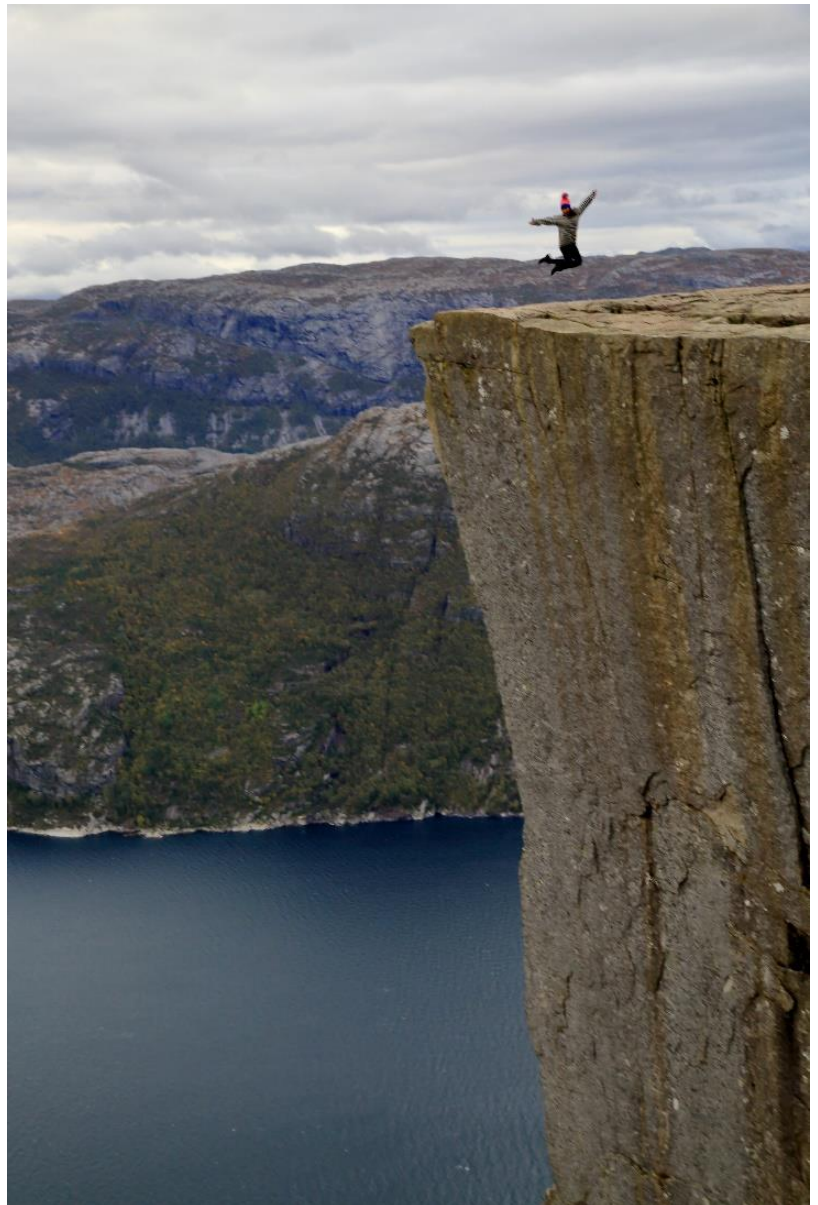
何故ノルウェー語を勉強するに至ったか？ お答えします。

中学生の時に、美術の先生が見せてくれたムンクの「叫び」に驚愕しました。「病める子」、「マドンナ」などその大胆な筆使いと独特の表現に吸い込まれて行きました。

おりしもグreekの曲や、イプセンの小説も好きでした。こういった芸術家を生んだ、たった4百万人(当時)しかいないバイキングの地に興味を抱くのは自然な流れでした。

学校を卒業して就職したのは造船部門も持つ鉄鋼メーカーでした。留学制度があり、通常は英語圏やラテン語系の大学を選ぶのですが、僕はノルウェーのオスロ大学を選択し、人事部を説得しました。選択理由は、北欧船主向けの新造船受注が多数あり、そういった地域の事情が分かる人材が必要と、本音を言わなかったのが未だに後ろめたさがあります。時間のある時はオスロの国立美術館に行って、それこそ穴が開くほどムンクの作品を鑑賞しました。(入館料は無料で作品にガラスのカバーなどはなく、絵の具のおいも嗅げました)

趣味は写真で、この風景は西ノルウェーで撮ったリーセフィヨルドにある地上600Mの断崖絶壁プレースケストーレンです。何万年の悠久の歴史を紡ぐこの国のワイルドな自然に接するたび、いつも力をもらいます。年齢なんて数字に過ぎない。まだまだ希望は続くと。



タイトル：希望

取材記

わたしの好きなこと

広報委員長

大澤 之夫 (32 期 陶芸)

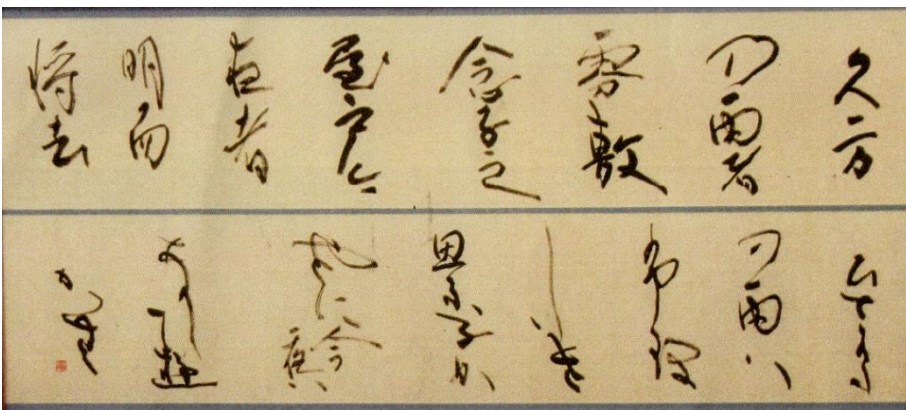
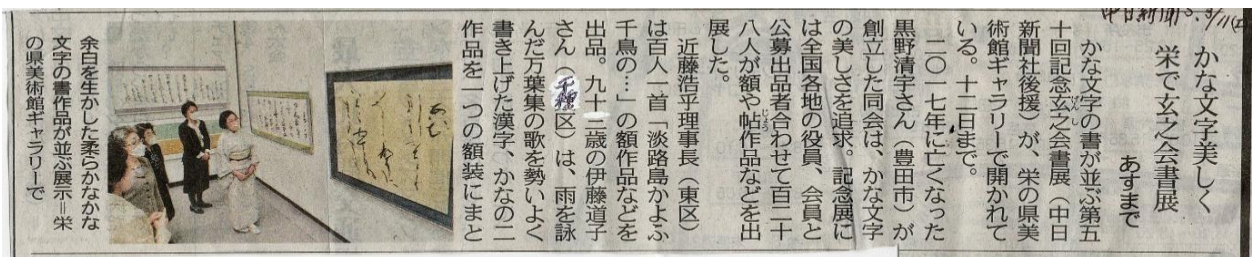
花水木鯨城会には、本当に素敵な方が数多くいらっしゃいます。そんな方々を紹介して、会員の皆様が自分をあらためて発見して元気になって頂きたいとの思いから、取材をさせて頂いています。



今回の主人公は、若水地域会の伊藤道子さん(32期 文化A)です。伊藤道子さんは今年で92歳になられますが、ご本人は29歳の心で様々な事に興味を持ち、しかも実践されています。周りの勧めもあり色々な場で活動内容を発表されていますので一部を紹介します。

伊藤さんは子供の頃から書くことがお好きで、時間を見つけては書道にいそしんでこられました。千種区に移住されたのを機に「万葉かな文字の書」を始められました。

もともと大好きな書でしたが、今年の記念書展では万葉集の漢字・かなの2作品を1つにまとめた作品を出したところ賞を取り、中日新聞に掲載されました。師匠や全国各地の役員さん仲間の会員さんからも高い評価を受けて、「長生きすると、いいことが多くなる」と喜んでみえました。



左は万葉かな書です。上半分が漢字で、下半分がかなで書かれています。

「久方の、雨は降りしく思う子が宿に今夜は明かしてゆかむ」と書かれています。

上: 中日新聞の記事 下: 万葉かな書

伊藤さんは、ハーモニカ同好会にも所属して、若水地域会のランチ会などにライブ出演しています。人を喜ばせるのが大好き、そんな生き方素敵です。

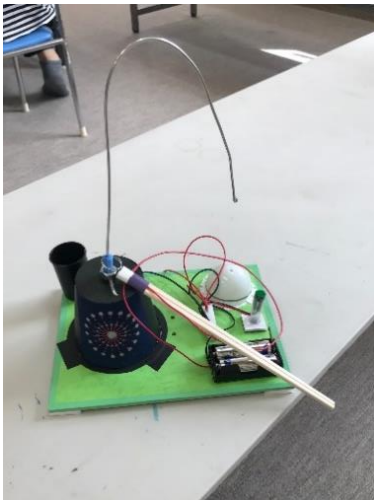
花水木にはこの様な方がたくさんいらっしゃいます。元気を頂きました。



社会奉仕委員会報告

社会奉仕委員長
樫澤 一也 (31期 生活B)

■千種児童館ボランティア



こども商店街 2023 に参加のメンバー

こども商店街会場

夏休み工作で完成したオモチャ

その1 夏休み工作 (8月2日)

棒の先についたループを、曲がりくねったアルミ針金に触らないように通し、コップの上部にタッチすると LED が点滅し、黒いコップが花火のように光るといふオモチャを作りました。失敗してアルミ線に触れるとブザーが鳴り、警告ランプが点くというゲーム性の高いもので、子供たちは完成するなり遊び始め「わー鳴っちゃった」「またダメだー」と興奮していました。今回の工作はリード線をうまく結線する必要があり結構難しい工作でしたが、先生の良いご指導で、メンバーはボロを出さずに済みました。

その2 こども商店街 2023 (8月29日)

子供たちが自主的に計画・立案した模擬店で商店街を構成し、子供たち自身が経営する、というレベルの高いイベントでした。我々ボランティアは直接手を出さず、想定外のトラブルや突発的問題にアドバイスを行うという立場で参加しました。

結果的には、子供たちはほぼ完璧にイベントをこなしていて、混乱も有りませんでした。手持無沙汰な我々は、来場されたお客さんと一緒に商店街をショッピングツアーする参加者になっておりました。夕刻、最後まで元気に動きまわる子供たちのパワーを羨ましく思いながら、腰をさすりさすり児童館を後にしました。

■心の絆創膏キャンペーン

9月14日、4年ぶりに心の絆創膏キャンペーンが行なわれました。当会のメンバー8名は、千種駅で早朝8時から通勤・通学の皆さんにキャンペーンの趣意書とそれにちなんだ絆創膏を配ってきました。名古屋市から依頼された800枚は15分ほどで皆さんの手に渡りました。

受け取る時間ももたない感じで忙しく行き来する皆さんには、充実した毎日で心の悩みなど無いように見えますが、どうなのでしょうね。

このキャンペーンが役に立って欲しいような、欲しくないような… 複雑です。



■千種区民まつり

10月1日、こちらも4年ぶりに開催されました。自慢じゃありませんが、ボランティア参加グループ数々あれど、23名も同時に動ける場所は我が花水木だけではないでしょうか。広い会場の要所要所で緑のウェアが躍動していました。

時折激しい雨が降るという天候にもかかわらず、この時を待っていた大勢の家族連れが来場されました。特に、本物と同じように石炭を焚いて走る豆SLに乗れるコーナー、はしご車のゴンドラに乗れるコーナー、白バイに乗って写真を撮るコーナーなどは、お子さんに大人気でした。



そのコーナー担当をはじめ、公式休憩時間1時間を挟む6時間の激務に、皆さんよく頑張ってくれました。さすが花水木鯉城会です。また来年も頼まれそうです。

コアラッチも仲間に加わってくれました

ボランティア活動体験記 (1)



社会奉仕委員

塚本 利夫 (34期 国際)

長年、名古屋を離れて仕事をしてきたので、地元をより理解するため花水木鯉城会入会を機に時間の許す限り社会奉仕活動に専念してきました。この半年、鶴舞/茶屋が坂/鹿子公園の清掃、千種児童館行事、千種区在宅サービスセンターでのデイサービス支援、コーヒーサロンサークル等のボランティア活動に参加してきました。

これらのボランティアを介して、いろいろな皆さんとの出会いがあり、これは私にとって実に貴重な経験になっております。なかでも興味深いのは、デイサービス利用者(通常20名前後)の皆さんへのお茶出し、入浴後のドライヤーでの頭髪乾かし等の約2時間のボランティアのひとつです。我々高齢者にとって、「デイサービス」は将来利用する可能性もあり、その実態に初めて接することは、実に有意義な体験となりました。利用者の9割は女性であることが最初のオドロキ。お茶を出したとき丁寧に挨拶される方、気分がよくないのか無言の方、数人で賑やかに会話される方、一人で孤独を好まれているような方などで、高齢の皆さんの様々な人生を想像させる、一部に接することができる瞬間でもあります。

特に、入浴後の女性の皆さんの髪に触れてドライヤーで乾かす数分は、髪の毛を通してその人の過ごされた人生を、私なりに想像でき実に興味深い時間です。最後に「あー、さっぱりした、これでまた美人になった。どうも有難う」とユーモア混じりに礼を言われる

と、共に幸せな数分を持ってたと嬉しくなります。残念なのは、2名の男性の利用者と落ち着いて話す機会が無いことです。全体の9割を占める女性利用者に圧倒され、お二人の存在感が薄いことは否めません。この男性のデイサービスの利用者が、女性と比較して少ないのは一般的傾向のようですが、これの是正策を、今後このボランティアを通して、微力ながら、自分なりに考えたく思っております。

ボランティア活動体験記 (2)



行事委員

榎澤 征子 (33期 健康A)

千種児童館のイベント「こども商店街2023」にボランティア参加させて頂きました。

フロアのあちこちに、子供達が企画して作り上げた様々なショップや遊びコーナーが並んでいましたが、私は杉浦さんと二人で「スーパーボールすくい」というお店で、孫のような子供スタッフをサポートする店員をやらせて頂きました。

直径60センチくらいの「タライプール」の中に水を張って、その中に浮かべた水風船玉を金魚すくいの様に釣り上げるゲームですが、50人以上の子供達が行列を作って楽しんでくれました。上手な子は30個以上釣っていましたが、1~2個で金魚すくいの紙が破れてしまう子もいました。同じ様に見える子供達でも、ずいぶん性格や動作・要領が違うものなのだなぁと一人一人の様子を見て興味を持ち感心しました。

私もちょっとトライしましたが、子供達の様にはうまくいきませんでした。女の子達に沢山釣り上げる方法を教えてもらい、楽しい時間を過ごせました。子供達の明るい笑顔を見て元気な声を聞いて、めっちゃエネルギーを貰いました。

また機会があれば参加したいと思っています。

編集後記

花水木だより102号は「同好会特集」としました。コロナで3年以上活動停止となった同好会もありましたが、再開して本来の花水木に戻りました。今号では14同好会の将来の計画や展望も紹介しました。どの同好会も仲間を募集していますので、新しい自分に挑戦して応募してください。皆様からの連絡お待ちしております。

広報委員長 大澤 之夫 (32期 陶芸)

連絡先: Tel 090-3307-1160

住所: 千種区池下町 3-63-25


グランドメゾン池下ザ・タワー2805

メール: ikeyuki0726@r3.ucom.ne.jp

広報副委員長 桑原 守 (32期 地域A)

広報委員 葉山 彰 (34期 園芸)





今後の行事予定

第6回 16区フェスティバル

期 日 11月16日(木)

会 場 東スポーツセンター

堀川清掃大作戦

期 日 11月18日(土) 予備日 11月25日(土)

新年懇親会


期 日 令和6年 1月5日(金)

会 場 木曾路 瓦町店

新春講演会

期 日 令和6年 1月10日(水)

会 場 千種区社会福祉協議会 1階 研修室

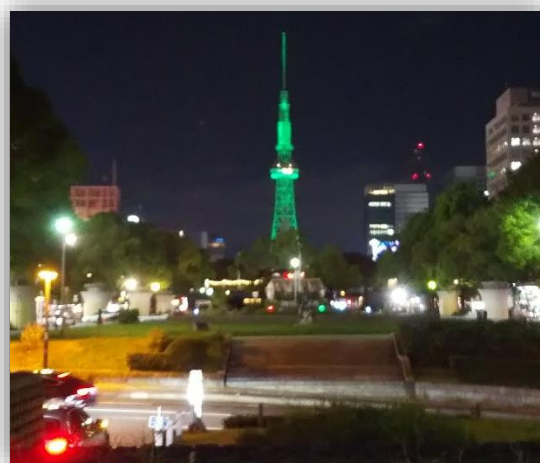


次号予告

花水木だより 103号

封入日 令和6年1月31日(水)

発行日 令和6年2月1日(木)



花水木だより 102号

発行者 名古屋高年大学 千種鯨城会
名古屋高年大学 鯨城学園

発行日 令和5年11月1日(水)

発行責任者 小松 憲次

編集者 大澤 之夫